

プレス発表資料

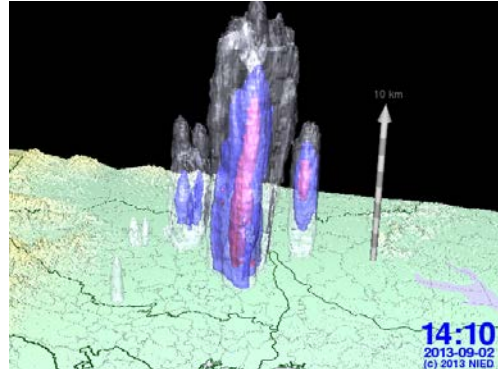
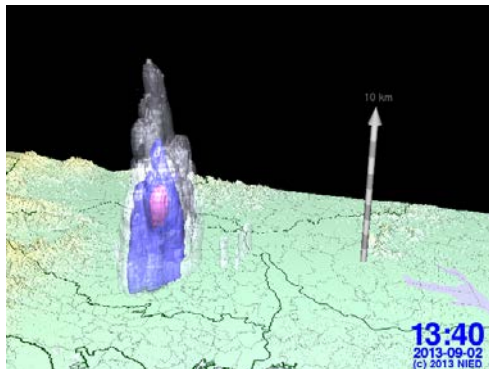
平成25年9月4日
独立行政法人 防災科学技術研究所

9月2日に埼玉県越谷市等に被害をもたらした竜巻について

独立行政法人防災科学技術研究所(理事長:岡田義光)は、2013年9月2日に埼玉県越谷市で発生した竜巻について、被害の現地調査および高性能な気象レーダーによる観測の結果をホームページに掲載しました。(http://mizu.bosai.go.jp/c/c.cgi?key=20130902_Koshigaya)

発達中の積乱雲を2台のレーダーで2分という短い時間間隔で追跡する特別観測により、竜巻を引き起こした親雲の立体構造の細かな時間変化をとらえることに初めて成功するとともに、親雲の中の渦の様子を明らかにしています。2日午後2時頃、埼玉県越谷市付近に西南西から移動してきた積乱雲が高さ15キロを超えて急激に発達していく様子などが克明に分かります。

今後は親雲の中の上昇気流や降水粒子の詳細な構造を解析し、竜巻が発生する条件など予測につながる研究を進めて参ります。結果は、逐次ホームページで公開して参ります。



画像の紫色は雲の中で雨や氷の粒が特に密集している所を示していますが、竜巻が発生したとみられる午後2時ごろに紫色の部分が地表近くにまで降りていくことも確認できます。

本件配布先: 文部科学記者会, 科学記者会, 筑波研究学園都市記者会

【内容に関するお問い合わせ】

独立行政法人防災科学技術研究所
観測・予測研究領域
水・土砂防災研究ユニット
岩波
電話: 029-863-7765

【連絡先】

独立行政法人防災科学技術研究所
アウトリーチグループ
三好・大石
電話: 029-863-7768
FAX: 029-851-1622